

MITOYO

あなたの未来が広がる病院
今日から明日の私へつながる



三豊総合病院 看護部案内

MITOYO GENERAL HOSPITAL NURSING DEPARTMENT

2024

live 看護はライブ!

肌で感じてつなげる
「その人らしさ」を支えるために。

看護部 理念

三つの豊かな看護の実践

三豊総合病院では、患者さんの段階に応じた看護を提供し、それぞれの看護師が看護をつないで地域住民を支えています。一人ひとりの患者さんに合わせ、「その人らしく生きること」をサポートしています。

身体(からだ・こころ)の状態を

1 見る力

生きること

身体の状態を看ながら 暮らしを支える

相手を思いやる

2 心

人間らしく生きること

地域での暮らしを支える

3 連携

その人らしく生きること

ストーリー公開中



CREDO 行動指針

- 1 相手の存在を認めた行動をします。**
あらゆる人にまずは、挨拶・会釈・自己紹介をします。患者さんの状態、状況を把握したうえで、考えた実践を行います。
- 2 相手の「反応」をよく見ます。**
患者さんの発している言葉だけでなく、身体的精神的症状も含めて観察、測定します。「反応」は正常、異常、経過として判断し、原因となる「刺激」を考えます。
- 3 相手にわかるように伝えます。**
相手に合わせた言葉で、わかっているかを「反応」から確認しながら話します。相手とは、患者さん、ご家族、学生さん、職員、あらゆる方です。
- 4 組織の一員として責任のある行動をします。**
専門職として、病院職員として、規則や職場のルールを守り、公私の区別のある行動をします。
- 5 自分と周囲の人々の健康を大切にします。**
自分と家族を含めた周囲の人々の健康にも注意を払います。健康で働くことの大切さを感じます。
- 6 専門職として、知識と技術、倫理性を追求します。**
専門職として経験を学びにし、変化する保健・医療・福祉について学び続けます。そして、それぞれの命を価値あるものとして尊重します。

看護師 のための

三つの豊かを追求する

私たちは、自ら考え、学び、行動できる看護師を目指しています。「専門職」としての看護に誇りを持ち、「お互いさま」の風土で、助け合い、働きがいのある職場環境を心がけています。



1 育児支援 安心

院内保育所「わたっこ保育園」は、通常保育のほかに病児・病後児保育も行っています。その他には、育児のための短時間勤務制度や夜勤免除制度などもあり、育児中の看護職員が働きやすい環境を整備しています。



2 健康配慮 安全

職場において、より積極的に心の健康の保持増進を図ることが、重要な課題となっています。当院では、健康で安全に働けるように、労働安全環境の整備やメンタルヘルス・ハラズメント対策など、病院全体で取り組んでいます。



3 勤務体系 充実

患者の生命と健康を守り、安全な医療を提供するためには、私たちが安全で健康に働くことが必要です。病棟部門はすべて変則2交代制をとっています。WLB(ワークライフバランス)の充実、「お互いさま」の職場風土で、働き続けられる、働きがいのある職場環境を整えています。

いきいきと 働ける職場づくり



看護師長
森川 礼子

誰かが対応に困っていることを共有し、みんなで解決策を考える職場にしていきたい。仕事のやりがいは、自分の行いの効果を感じるのだと思います。それを実感できるように、どんな小さなことでも仲間が患者さんに良いケアをしていると気づいた時や、業務を手伝ってくれた時にかかる一言を大切にしています。笑顔を絶やさず、壁なくコミュニケーションが取れる雰囲気していきたいです。



看護師長
宮脇 木綿子

「すみません」ではなく、沢山の「ありがとう」が聞こえる職場にしていきたい。スタッフが「看護は楽しい」と感じてもらいたいため、提供した看護に意味や価値があることを理解してもらえよう評価を伝えています。病棟が機能しているのは主役であるスタッフのお陰です。スタッフが主役としてやりたい看護を実現し、最大限の活躍ができるような職場環境を提供し、整えることを大切にしていきたいです。

専門職としての誇りと自信を持ち、患者さんを中心に考えて協働していきたい

私たちの病院は、いろいろなチャレンジを応援する環境が整っています。そのような環境の中で、それぞれに目標を持って看護に取り組み、チーム医療の中で看護の視点から発言や議論ができる専門性の高い人材を育成したいと考えています。看護の価値を伝え、他職種と協働し、患者さんそれぞれに対し最善を考えられる職場づくりを目指しています。専門職としての誇りと自信を持ち、やりがいを持って働き続けること、そして看護が楽しいと感じる瞬間を増やしてもらいたいと思っています。



看護部長
守谷 正美



level I 看護師 山下 愛実
Ami Yamashita

全体を把握する力、判断力と行動力を身につけ、リーダーシップを学んでいきたい

患者さんの声を聴きどのような看護が必要になるかを考え、寄り添い、関わることを大切にしています。また面会制限がある中で、患者さんの寂しさや不安の軽減、面会に来られたご家族への配慮を大切にしています。患者さんを生活者として捉え退院後も含めた患者さんのニーズを様々な視点から考えるようにしています。日々の看護の中で患者さんとのコミュニケーションや状態観察を行い、いち早く状態の変化や苦痛に気づくことができるような看護師を目指しています。先輩看護師の動きや、患者さん・ご家族への対応の中で学ぶことが多くあります。4年目になった今、全体を把握する力、判断力と行動力を身につけ、リーダーシップを学んでいきたいです。



level II 看護師 開口 ひかり
Hikari Kaiguti

手術当日の不安を少しでも軽減し、安心して手術を受けられるように患者さんと関わっていききたい

私は手術室看護師として毎日何件もの手術に関わっていますが、患者さんにとって手術は人生に一度あるかないかのビックイベントであるため、患者さんの多くは不安を抱えていると思います。そのため、患者さんの反応を見てこれまでの経過を振り返ること、よく話をしてコミュニケーションをとることを大切にしています。患者さんが不安を表出できるような雰囲気作りを心掛け、不安や質問を受け止められるような冷静さと知識を身につけていきたいです。当院では、どの部署にも「この人のこういうところを真似したい」と感じる看護師がいます。コミュニケーションのとり方、ケアの方法、働き方などを学び、患者さんが安全・安心・安楽に治療を受けることが出来るようレベルアップしていきたいです。



level III 看護師 三宅 恵里菜
Erina Miyake

一人ひとりの患者さんや家族と丁寧に接し、個性のある看護ができるようになりたい

一人ひとりの患者さんをしっかりと看ることを大切にしています。ICU入室中の患者さんは、人工呼吸器を装着し、意識がなく症状を自分で訴えることができないので、より細やかに全身状態を観察するとともに、些細な変化を見逃さないようにアセスメントし異常の早期発見に努めています。また、突然の入院や状態の変化に対して戸惑いや不安を抱えている患者さんやご家族に状況を説明する際は不安の表出ができるような関わり方を意識しています。一人ひとりの患者さんやご家族と丁寧に接し、個性のある看護ができるようになりたいので、日頃から患者さんの状態をしっかりと把握し患者さんやそのご家族、多職種とも積極的にコミュニケーションをとるようにしていきたいです。



level IV 看護師 石川 里佳
Rika Ishikawa

自信をもって生き活きと働き続け、患者さんやスタッフに信頼してもらえるような看護師になりたい

私は、話しやすい雰囲気ができるように笑顔や公平な関わりを大切にしています。異業種での経験がありますが、これほど「ありがとう」と言われる仕事はないと思います。患者さんの回復や安心に携わり、その反応を感じることがやりがいに繋がっています。生死に関わる中で辛い瞬間に立ち会うことや責任の重さを感じることもありますが、自身の成長を実感しています。当院には学びたいことにチャレンジできる環境があり、入職時からの教育システム、ナーシングスキルや認定看護師による研修など多くのスキルアップの支援があるので、知識、技術、コミュニケーション能力を磨き、自信をもって生き活きと働き続け、患者さんやスタッフに信頼してもらえる看護師を目指していきたいと思っています。

私たちは自ら学び、考え、

新人のあゆみ



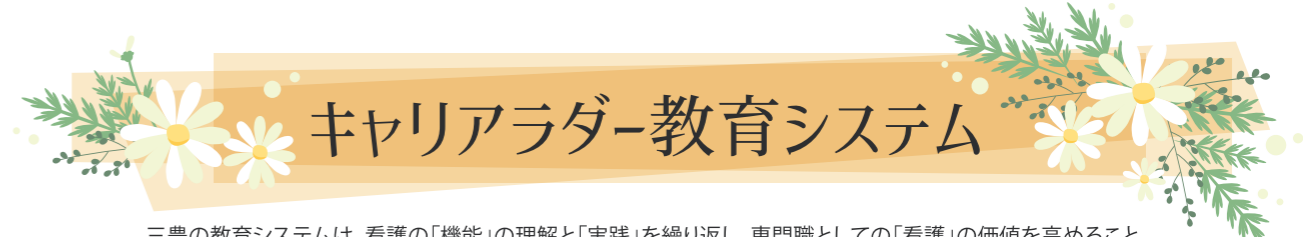
Fresh 看護師 齋藤 亜衣
Ai Saitou

患者さんの心情を理解して、望む生活を共に考えることができるような看護師になりたい



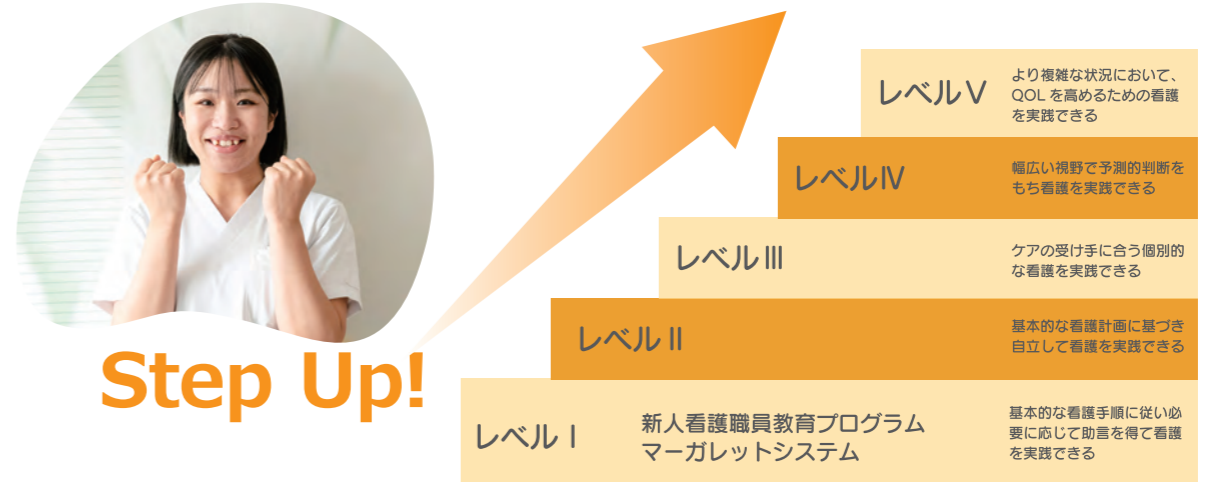
新人研修で、複数の患者さんに対応する際の優先順位のつけ方イレギュラー時の対応、誰が聞いても理解できる報告・連絡・相談の仕方を学びました。状態変化があった時も冷静に対応できるよう次に起こることを予測して考え、患者さんの些細な変化に気づくことができるよう心掛けています。当院は、パートナーシップ体制なので、自分で対応できない時はすぐに先輩に相談が出来るのでありがたく思っています。リハビリから帰ってきた患者さんが「〇〇できるようになった」と嬉しそうに話すのを聞いた時や回復に向かってる姿を見た時がこの仕事に就いて良かったと思える瞬間です。患者さんの心情を理解して、不安や辛さを少しでも軽減できるような声掛けをし、患者さんの望む生活を共に考えていきたいです。

行動できる看護職となる。



キャリアラダー教育システム

三豊の教育システムは、看護の「機能」の理解と「実践」を繰り返し、専門職としての「看護」の価値を高めることを目指しています。自らのペースで歩めるように、キャリアラダーによる教育を準備しています。レベルⅠからⅤまで、それぞれのレベルに応じた教育で、あなたの未来を広げていきます。



地域包括 支援システム

三豊総合病院

医療



三豊総合病院企業団



予防・保健

ウェルネスサポートプラザ内
健康管理センター



介護・高齢者福祉

介護老人保健施設
わたつみ苑

三豊総合病院企業団は三豊総合病院、ウェルネスサポートプラザ内健康管理センター、介護老人保健施設「わたつみ苑」からなり、急性期医療と在宅医療、予防・保健、介護・高齢者福祉をつなげています。その中で当院は、地域完結型医療の中核病院という役割を担い、地域の医療機関と連携を取りながら医療を提供しています。

地域・連携を実践している 退院調整看護師の取り組み

入退院支援における顔の見える看看連携を強化し、安心して自宅療養できるよう患者さんを支援していきたい



主任看護師
岡田 理恵

退院調整看護師とは、患者さんとそのご家族が望む生活の場で、退院した後も安心・安全に生活できるよう入院時より情報提供や支援をし、退院後も社会保障制度や人的サービスの調整等、必要な環境を整えるマネジメントを行う仕事です。入院中の状況や退院に向けてのご本人・ご家族の意向を在宅チームへつなぐこと、顔の見える連携、退院に向けて必要な情報を在宅チームと共有し安心して自宅療養ができるよう支援することを大切にしています。今後は、入退院支援における看看連携(地域の施設や医療機関の看護師・訪問看護ステーション)ができる関係性づくりを強化していきたいです。

看護師とともに活躍する チーム医療スタッフがあります

看護部では、看護師以外に介護福祉士や看護補助者、夜間看護補助業務のエイドアシスタントが働いています。介護福祉士、看護補助者、エイドアシスタントは、看護師同様、病院において大事な役割を果たしているだけでなく、患者さんやその家族からとても感謝される機会が多い仕事です。

介護福祉士



日常生活が困難な高齢者や身体や精神に障害がある人などに対して食事、入浴、排泄などの身体介護を行います。

看護補助者



看護師が行う医療行為以外の業務のサポートをします。患者さんにとって身近な存在です。

「その人らしさ」を支える
連携で地域をまもる。

今、看護の場は多様化し、地域へと広がっています。さまざまなフィールドがある私たちの病院で、あなたが目指す方向性を見つけ、これからの時代に求められる看護職へと羽ばたいてください。



南2階病棟
看護師長 大谷 沙由梨

看護をしている充実感や達成感、仕事の楽しさを感じることができる病棟でありたい

南2階病棟は、泌尿器・皮膚科・耳鼻科・眼科・形成・歯科と様々な科を有する混合病棟で、入退院が頻繁にあります。手術件数も多く外科的知識に加え、終末期の患者も多いため急性期から慢性期にかけて幅広い知識と看護が必要とされます。当院は急性期病院ですが、地域に密着した病院なので、急性期から在宅看護まで幅広く学ぶことができます。また、教育にも力をいれており自己研鑽への支援も手厚く魅力です。多職種とコミュニケーションが取りやすいので、入社時から働きやすいと感じていました。現在師長1年目ですが、忙しさの中でも、看護をしている充実感や仕事に対する達成感や楽しさを感じることができ、スタッフ同士で共に学べるような環境や切磋琢磨できる病棟を目指したいです。



西8階病棟
主任看護師 進藤 可奈子

患者さん・ご家族が気づかなかった不安や想いを引き出すことを大切にしていきたい

西8階病棟は、化学療法や内視鏡検査・治療、肝臓疾患治療といった消化器内科や呼吸器疾患、新型コロナウイルス感染、肺結核などの感染症疾患の患者さんが多く入院しています。患者さんの安全を第一に考え、スタッフ一人ひとりが感染対策の意識を強く持ち看護しています。私は、顔を覚えてもらえるように親しみやすい関係性を築くことを大切にしています。また、「〇〇に困ることはないですか?」と聞くことで、患者さんやご家族が気づかなかった不安や想いを引き出すことを大切にしています。看護師を目指す学生たちや新人看護師の存在は、常に正しい情報を伝えると共に、自分自身にとっても再学習の機会となる楽しみもあるため、今後は新人看護師の指導や看護実習生の指導をしていきたいです。



わたつみ苑
副主任看護師 藤田 貴子

災害に関する知識と被災時に役立つ技術などを身につけ、災害支援ナースを目指したい

わたつみ苑は、当院併設型の介護老人保健施設であり、介護を必要とする利用者の自立を支援し、在宅復帰や在宅療養支援を行っています。専門性の高い多職種で連携を図り、職種の垣根を越えて、医療・看護や介護、リハビリテーション、口腔ケアや栄養マネジメントを行っています。私は、ICU・緩和ケア病棟・循環器病センター・包括ケア病棟などでの勤務から、今の自分に繋がる貴重な経験と、それぞれの専門的な知識が身につけていると思います。今後想定される南海トラフ巨大地震を考える中で、災害支援ナースを目指しています。そのような災害が起こらないことが理想ですが、災害に関する知識と被災時に役立つ技術、感染症アセスメント能力などを身につけ、緊急時に施設でも役立つようになりたいです。

今、時代から
求められるために。

オンライン・
インタビュー



さまざまな部署の今を紹介!
未来の自分を想像してみよう

私たちは、看護職をめざす **高校生** と **看護学生** を応援します

三豊総合病院では、地域の高校生や看護学生に対し、受験・進学・就職という自分自身の進路を決めるタイミングに合わせて『看護師の働き方を学ぶ、看護を体験する』ことを通じて、より現実的に、より具体的に考える学習機会を提供しています。

看護部を
伝える会



フェイスブック
で情報発信中!



看護のひよこクラブ

ネットでは体感できない
看護師たちとの会話の場

高校生対象

春・夏
年2回



参加者の声

ネットで調べて得る知識よりも、新鮮でより身近な意見を得ることができた。

疑問だった所を知ることができた。現職看護師の方と直接話したり、グループワークをしたり、なかなかできないような貴重な体験をすることができ、本当に来て良かった。

実際に看護師さんから、職業内容や看護師になって良かったことや、やりがいについて聞けて看護師になりたい気持ちが強まった。

インターンシップ

多職種との連携の大切さ、
患者さんとの深い関わりを体験

看護学生対象

春・夏
年2回



参加者の声

普通の実習では見られない救命救急を見学でき、リアルな看護師の働きを見られて良かった。

患者さんのケアはチームで行うことの大切さを知ることができた(多職種との連携の重要性)。

相手が話してくれる訳ではないが、表情や動きから常に声を掛けながら行っていて、相手が誰であろうと声を掛ける必要性やコミュニケーションの取り方を学習することができた。

基本理念

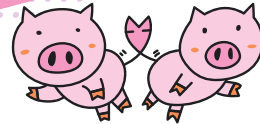
三豊総合病院は

Medicine 信頼される医療

Generality 保健・医療・福祉の包括医療
ケアシステムの展開・推進

Hospitality 優しさと情熱 を提供します

看護部キャラクター
みとんくん



みんなが笑顔で Happy に働けるようにと願いを込めて、幸せの象徴“ぶた”をキャラクターにしました。チャームポイントのしっぽには病院のシンボルマークを取り入れ、2匹のしっぽで「つながり」を表しています。

施設概要

病床数 | 一般病床 458床 (地域包括ケア47・ICU 10・地域救命救急センター10) 感染症病床 4床

当院が受ける指定 | 救急病院指定
地域がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
DMAT 指定病院
地域災害拠点病院ほか



三豊総合病院

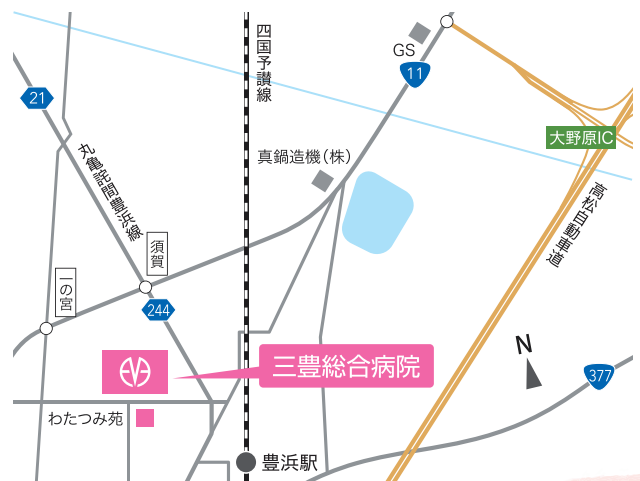
〒769-1695 香川県観音寺市豊浜町姫浜 708

tel 0875-52-3366 / fax 0875-52-4936

看護部サイトはこちら ▶

三豊総合病院 看護部 🔍

<http://mitoyo-ns.com>



公共機関をご利用の場合

JR 四国予讃線「豊浜」駅 下車 徒歩5分

お車をご利用の場合

高松自動車道「大野原」ICを降りて国道11号を西に5分